

## ドラクメ銀貨探し —— 中国地区合同夏期学校

まつうら おさむ  
松浦 治 (出雲今市教会牧師)

2013年中国地区合同夏期学校の担当をした出雲今市教会は、第一日目の午後、開会礼拝のルカによる福音書15:8-10(「無くした銀貨」のたとえ)と連動して、「ドラクメ銀貨探し」のオリエンテーリングをおこないました。

オリエンテーリングに取り組んだ理由はいくつかありますが、一つ目は、開会礼拝で与えられた聖書の内容を、遊びを通して確認するのに、適切なゲームの一つだと考えたことです。

出雲今市教会ではこれまでも数回、イースターの卵探しで、オリエンテーリングの手法を取り入れたことがあります。

もちろん、礼拝説教と遊びを混同することはできませんから、説教の中から問題を出すということは予告しません。しかし、問題やコースを工夫すれば、幼稚園から小学中学年、あるいは初めて教会に来た子どもなど、どんな子どもでも、聖書の内容に触れることができるという経験をしてきたからです。(なお、イースターの卵探しゲームでの問題は、「女の人たちがお墓に入ったとき、中にはなにがありましたか、①〇〇先生が昼寝をしていた、②〇〇ちゃんとお化けがダンスをしていた、③天使がいた」といった、きわめて簡単なものです。)

もう一つの理由は、はじめて会う、日曜学校の経験も年齢も違う各教会の子どもたちや大人が一つのグループを作って交流を持ってほしいということでした。

今回のオリエンテーリングは、11年度に岡山伝道所が主催した夏期学校でのオリエンテーリングを参考にしたのですが、せっかくの「合同」ですから、みんなで取り組み、一緒に体験するということを、ぜひして欲しいと思ったからです。

さらに、「施設」の環境、設備を有効に使いたいということもありました。

具体的なやり方として、

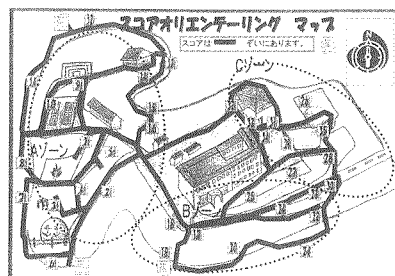
- (1) 施設に設定された施設外、屋内などを含めたいくつかのコースのうち、時間、安全性、雨天の場合の対処方法など考慮して、施設内のオリエンテーリングコースポイントの半分を使うことにしました。
- (2) 施設で備え付けられた地図を使い、問題用紙の中に「次の質問は、②番にあります。地図を見て探してください。」と、次の問題のあるポイントを示しました。
- (3) グループわけは、各教会バラバラに、子どもは年齢縦割り、大人は各教会均等に分けて、それぞれ子どものリーダーを選びました。
- (4) 問題の内容は開会説教の中から9つ(その1~その9)を作りました。
- (5) ゴールでは「ドラクメ銀貨」に模した賞品を渡すことにしました。
- (6) 前のグループの後追いをならないように一定の時間をおいて出発することにしました。(計画では5分くらいの時間を空ける予定でしたが、天候の関係で2分ほどしか空けられなかった)。



賞品のドラクメ銀貨

実施に当たって、

- (1) グループの全員で回答を確認する、
- (2) 迷子が出ないように大人が注意する、
- (3) コースがわからなくなったときや、  
雷などの悪天候の際は躊躇なく引き返す、
- (4) 休憩を入れる、などを確認しました。



オリエンテーリングマップ

問題は、開会礼拝の説教の中から出しましたが、説教では、聖書テキストには出てこない基本的な教えにも触れました。そして、問題は次のように、優しいものから、難しいものにしていきました。出雲今市教会での経験から、こどもたちに十分理解できると思ったからです。

〔銀貨探し（その1）〕 失われた銀貨のお話の書いてある本はどれでしょうか。

1. 国語の教科書
2. 動物図鑑
3. 聖書

〔銀貨探し（その3）〕 女のひとが探したのは何でしたか。

1. 500円玉
2. ドラクメ銀貨
3. 一両こばん

〔銀貨探し（その4）〕 女のひとは、銀貨がなくなったので、どう思ったのでしょうか。

1. ほかにいっぱいあるから、一枚くらいなくてもいいと思った。
2. 明日また働けばいいと思った。
3. 大変だ、すぐ探そうと思った。

〔銀貨探し（その9）〕 神さまが、わたしたちを愛してくださっていることは、どうしてわかりますか。

1. 神さまのひとり子イエスさまが、十字架につけられ、復活なされたから
2. 神さまから、毎日ラブレターがとどくから
3. 教会の先生がそう言ったから

反省点としては、全員で、答えの確認ができなかったことです。

出雲今市教会では、終わった後で、全員で問題を解きながら内容を再確認しましたが、夏期学校では、当日の天候の関係やスタッフが手薄なことがあって、それぞれ、ゴールについてのグループに賞品をわたすだけで終わり、残念でした。日曜学校の諸行事を、「楽しい遊び」で終わらせるのではなく、といって退屈なお勉強にならないように、工夫していければと考えています。